

(別添)

2019年4月25日

NITE(ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中国支所

News Release

屋内の事故から子どもを守る ～環境と物選びでもっと安全に～ —中国5県版—

1. 屋内での子どもの事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、屋内での子どもの事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2013年度から2017年度までの5年間に10件^{※2}ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」屋内での子どもの事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」屋内での子どもの事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2013年度			1	1	1	3
2014年度	1		2	2		5
2015年度	1			1		2
2016年度						0
2017年度						0
合計	2	0	3	4	1	10

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」屋内での子どもの事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」屋内での子どもの事故発生件数

被害状況 ^{※3}		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡						0
	重傷	1		1	1	1	4
	軽傷	1		1	3		5
物的被害	拡大被害						0
	製品破損						0
被害なし				1			1
合計		2	0	3	4	1	10

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」屋内での子どもの事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」屋内での子どもの事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの	1					1
B：製品及び使い方に問題があったもの				1		1
C：経年劣化によるもの						0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの				1		1
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの			1	2	1	4
F：その他製品に起因しないもの	1		1			2
G：原因不明のもの（G3を除く）			1			1
H：調査中のもの						0
合計	2	0	3	4	1	10

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した屋内での子どもの事故の主な事例を示します。

① 歯ブラシを使用中に転倒し、負傷した。

2014年2月（広島県、4歳以下、軽傷）

【事故の内容】

幼児が歯ブラシを使用中に転倒し、顔にけがを負った。

【事故の原因】

歯ブラシは、生後10か月頃～36か月の乳幼児を対象とした製品で、鋭利な突起部分はなく、また、歯ブラシにバリ等の異常は認められなかった。事故の状況から、幼児が歯ブラシを手に持った状態で転倒したため、歯ブラシの先端が頬に当たってけがを負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「必ず保護者の監督のもとで使用」させる旨が、注意表示されていた。

② 哺乳瓶を破損し、負傷した。

2013年5月（山口県、1歳、重傷）

【事故の内容】

異常に気付き確認すると、哺乳瓶が破損しており、幼児が左手を負傷していた。

【事故の原因】

哺乳瓶は外部からの衝撃力によって破損し、割れた破片で使用者が負傷したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

なお、取扱説明書には、「お子さまには、決して一人では持たせない。落としたり、転んだりした際に割れて危険である」旨、記載されている。

3. 屋内での子どもの事故の実験映像について

屋内での子どもの事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：灰川、木下、折田

電話：082-211-0411